

和木ぶんか

WAKI Culture

3.25

2023 令和5年

No.55



第10回 和木町絵画美術展覧会
大賞「群像」茶谷 裕子(岩国市)

～感動にチャレンジ～

あなたも第九を歌いませんか



指揮

むらかみ けんいちろう

村上 謙一郎

和木町は2023年4月1日に町制50周年を迎えます。文化協会の大きな行事であるWAKI・コンサートも2024年に25周年の節目を迎えます。文化協会では、このふたつを記念して“和木町で第九を歌おう”を企画しました。公募による合唱団員 約100名とともに、よるこびの歌を歌いあげたいと思います。小学生から高齢者まで、多くの町民の参加をお待ちしています。

今回、第九の指揮と指導をしていただきます村上謙一郎先生にお話をうかがいました。

岩国混声合唱団音楽監督・常任指揮者、愛宕フラウエンコール常任指揮者、コーロ・いわくに指揮者、Chor Freunde 主宰・指揮者、広島大学合唱団常任指揮者。これまで「合唱曲を委嘱する会・岩国」、「創る会（東京）」において新作を初演するなど新しい合唱音楽の創造に力を注ぎ、2019年鷹羽弘晃「尾形亀之助の詩によるエチュードⅢ～パストラル・ライン」を指揮・初演した録音はNHK-FMにて全国放送された。オーケストラ公演における合唱指揮ほか、様々な公演での企画・プロデュース・指揮活動を行う。声楽を西尾 優氏、合唱指揮を田中信昭氏（東京混声合唱団桂冠指揮者）に師事。

■「第九」とはどんな曲ですか

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンが1824年に作曲した独唱と合唱を伴う交響曲で、ベートーヴェン最後の交響曲、「交響曲 第九番 二短調 作品125」です。詞は1785年ドイツの作家フリードリヒ・フォン・シラーによって書かれた「歓喜に寄せて」です。ベートーヴェンがこの詩に出会ったのは22歳の頃で「第九」を作曲する54歳までこの詩を愛し続けていました。

「第九」の正式名称は「シラー作、頌歌『歓喜に寄す』を終末合唱にした、大管弦楽、四声の独唱、四声の合唱のために作曲され、プロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム三世陛下に最も深甚な畏敬をもって、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンによって奉呈された交響曲、作品125」といいます。

■「第九」と聞くと合唱団などで日頃から練習をしている人でないと難しく感じられます。経験がなくても大丈夫でしょうか

もちろん簡単ではありません。ですが、多くの合唱

初心者が、各地で第九演奏に挑戦し、楽しんで歌っています。全体練習に参加するだけでなく、パート練習用のCDなどを使って個人練習を重ねながら参加していただけたら大丈夫です。

■ドイツ語での合唱ですがドイツ語が話せなくても歌えますか

はい、大丈夫です。みんなでドイツ語の読み方も練習しますし、読み仮名のふってある楽譜も出版されています。仲間と一緒にひとつの音楽をつくり上げた時の達成感は格別なものになるでしょう。

■記念コンサートでは、どのような「第九」を創り上げたいですか

日本では「第九」は年末の風物詩ですが、欧米各国では祝典や歴史的な行事の際に演奏されます。第二次大戦後、1952年にバイロイト音楽祭が復活した際のフルトヴェングラー指揮による演奏や、ベルリンの壁崩壊後の1989年にバーンスタインが東西ドイツ

の音楽家達を指揮して「自由の喜びを共に祝するために」演奏したコンサートなどがよく知られています。そのような曲ですから、「和木町 町制施行50周年」という記念行事に相応しいコンサートになると思います。一流のプロの演奏家と地元の音楽（合唱）愛好家が集って演奏する第九は、和木町の歴史に残る素晴らしいイベントとなるでしょう。和木町ならではの、明るく暖かい未来が見えてくるような第九演

奏にしたいと思っています。

また、演奏会は演奏者だけで創るものではありません。素晴らしい聴衆と一緒に作り上げるもので、和木町のお客様にも期待しています。客席の皆様と一緒に素晴らしい第九を創りたいと思います。

多くの和木町民の皆さまの、第九演奏へのご参加と、演奏会へのご来場をお待ちしております！

ピアノ連弾



やました ちか
山下 千佳
桐朋学園大学卒



まつむら のどか
松村 和
東京音楽大学卒

ソリスト



ソプラノ
こばやし よしこ
小林 良子
エリザベト音楽大学准教授



アルト
ふじい みゆき
藤井 美雪
エリザベト音楽大学講師



テノール
なかひがし しゅん
中東 駿
エリザベト音楽大学院卒



バリトン
おりかわ ひろはる
折河 宏治
エリザベト音楽大学准教授

文化協会総会



令和4年4月28日(木)和木町総合コミュニティセンターにおいて令和4年度文化協会総会が開催されました。コロナ禍によりやむなく書面決議が続いておりましたが3年ぶりに開催することができました。

《令和3年度》

事業報告・収支決算報告・監査報告

《令和4年度》

事業計画案・収支予算案

共に承認されました。



キッズ・フォトコンテスト

2022年10月8日(土)▶15日(土) 和木美術館(アートウィング)

コロナ感染が終息の兆しを見せず、今年もキッズ芸能祭の実施を見合わせ、代替事業として、昨年に引き続きキッズ・フォトコンテストを開催しました。昨年を上回る120点もの応募があり、作品は10月8日から15日まで和木美術館に展示しました。

【グランプリ】

「夏の思い出」 山本 龍輝(和木中学校 2年)

小学生
以下の部

金賞



「セミのぬけがら」
東屋 美海
(岩国小学校 2年)

銀賞

「みんなでキャンプ」 岡崎 蒼介(和木小学校 3年)
「クラゲがいっぱい」 藤本 新大(4歳)

銅賞

「どうなってるの？」 岡崎 葵(和木小学校 1年)
「お家プール日和」 永尾 修也(和木こども園 年長)
「ジャンプ」 西岡 海来(大竹小学校 5年)

中学・高校
の部

金賞



「たそがれの空」
廣本 明希
(岩国高校 2年)

銀賞

「復興」 川野 聖弥(和木中学校 3年)
「祈り」 森脇 雲奏唄(AICJ高校 1年)

銅賞

「まねっこ」 木村 優香(周防大島高校 3年)
「真夏の影2022」 田中 姫愛(和木中学校 1年)
「おっとと！」 茶屋 穂乃香(和木中学校 2年)

WAKI・コンサート'22 2022年12月10日(土) 和木町文化会館



クラリネット三重奏



ファゴット独奏



“大地讃頌を歌う”会

(敬称略)

Waki Cultural Association 和木町文化協会創立30周年記念事業

和木町文化協会創立30周年を迎えた令和4年度には、さまざまな記念事業が行われました

宝くじ文化公演

カルメン

ビゼー作曲 オペラ
全4幕 日本語上演

2022年6月25日 土

和木町文化会館



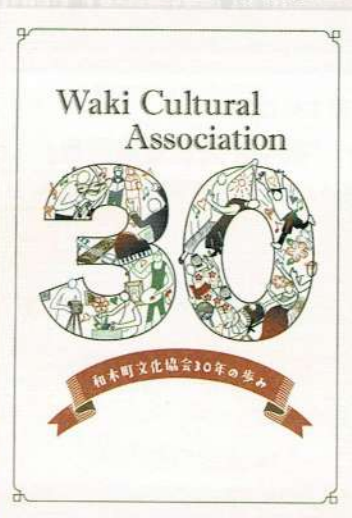
主催
和木町
和木町教育委員会

後援
和木町文化協会

和木町文化協会創立30周年記念誌

「30年の歩み」

2022年11月3日発行



和木町文化協会創立30周年
記念コンサート

2022年11月20日 日
和木町文化会館



おんがく
こうじょう

GIRLSNAGON



令和4年度行事報告

5/15

日

和木町文化会館

和木町カラオケフェスタ

「懐かしのメロディー」



6/3

金

6/6

月

和木美術館 (アートウィング)

和木絵画クラブ

「第22回 絵画作品展」



6/5

日

和木町文化会館

AMM

「AMM DANCE RECITAL 2022」



6/18

土

10/15

土

2023

1/21

土

和木町総合
コミュニティー
センター

ヒップファミリークラブ和木

「親子で参加するワークショップ
～7ヶ国語で話そう～」



8/6

土

10/29

土

12/17

土

和木町総合コミュニティーセンター

コミセンパソコン教室

「第1回 タイピング大会」

「第8回 地域交流会
ハロウィンパーティー」
「クリスマスパーティー」



8/28

日

和木町文化会館

ダンスサークルABEATクラブ

「第11回 Summer Dance Concert 2022」



9/18

日

和木町文化会館

和木中学校吹奏楽部OB会

「第10回 ふれ愛コンサート」



9/25

日

和木町文化会館

はっち弦楽合奏団

「第6回 定期演奏会」



10/30

日

和木町文化会館

和木短歌会

「第4回 公開短歌講座」



11/27

日

和木町文化会館

和木カラオケ同好会

「第36回 発表会」



2023

1/28

土

和木町文化会館

四境太鼓

「太鼓まつり '22」



和木町文化協会功労賞



童謡唱歌を歌う会 “赤とんぼ”

杉本 光江

この度は「文化功労賞」という栄えある賞を頂くことになり、身に余る思いでいっぱいです。

私が童謡唱歌を歌う会 “赤とんぼ”を会の皆さまと二緒させていただいて、早や20年の月日が流れました。この会との繋がりは、町内で「童謡を歌う会 やまびこ」を長年ご指導くださった故倉田史郎先生、そして “赤とんぼ”を創立された高岡泰子先生との貴重なご縁から生まれたものであり、深く感謝しております。

私は、長年エレクトーンの指導に携わって参りました。ポピュラー畑出身の私に歌の指導などできるのか、と当初は不安でしたが、会のメンバーと懐かしい歌を共有する時間を重ねるにつれ、その不安がいつしか楽しさへと変わっていききました。

音楽の持つ力、癒やしの力を再確認できたことは、本当に大きな喜びです。気がつけば月に2回、仲間と顔を合わせ笑ったり声を合わせたりすることが私自身の原動力となり、20年間背中を押して続けられました。一緒に歩みを進めてくださった皆さまにも感謝の気持ちでいっぱいです。

創立20周年記念コンサートは新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止を余儀なくされましたが、又いつの日かコンサートを開催し皆様と二緒に歌える日が来ますことを心から願っています。

最後になりましたが、和木町文化協会のご発展と、会員皆さまのご健康をお祈り申し上げます。本当にありがとうございます。

展示会

2022年10月26日[水]→11月6日[日] 和木美術館（アートウィング）



和木フォトクラブ



橋本 松江（フランス刺繍）



特別出展

三分一 貴司 島崎 こずえ 島崎 陽子
宮本 健吾 藤川 暁子

緑の風薫る 文化のまち 和木町

和木町

文化祭

芸能祭

2022年11月3日[木・祝] 和木町文化会館ホール



アロハ マイカイ



T4



AMM

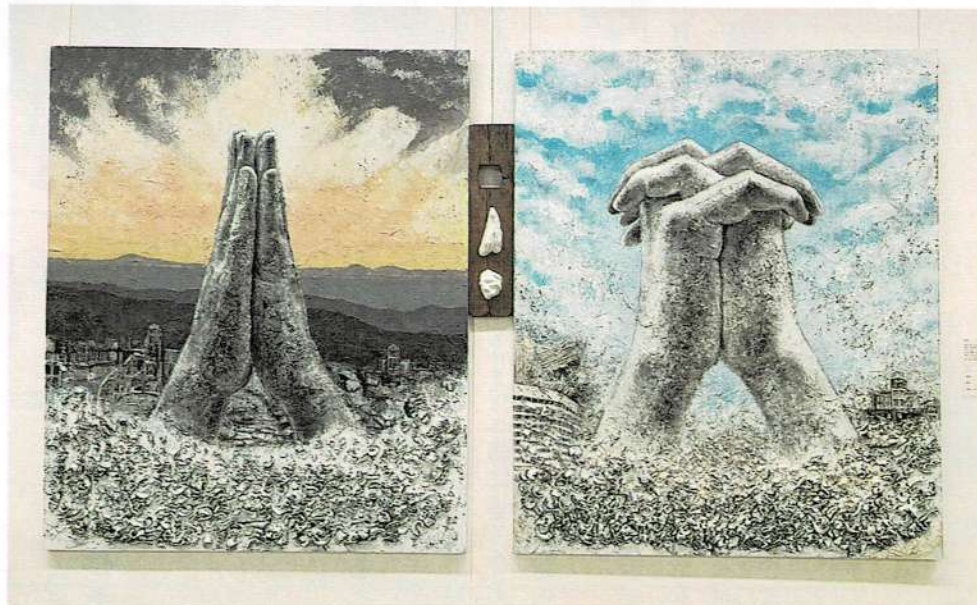
（敬称略）

受賞おめでとうございます

山口県美術展覧会

佳作 島崎 こずえ

第75回山口県美術展覧会に出品した作品「祈り」が佳作に選ばれました。



未来に対する不安、不条理、繰り返される戦争、宗教、人種の違いを乗り越えた人間の根幹にある「祈り」を表現しました。中央の石膏の手は、一番小さい社会である家族の行く先の幸せを願う私自身の手です。

山口県美術展覧会

山口県在住の作家を中心に作品を公募し、工芸、絵画、写真、書といったジャンルを超えた審査が特徴

第65回 山口県読書感想画コンクール

優良 高野 愛菜 (和木小学校 5年)

第74回 山口県学校美術展

優良 竹本 月愛 (和木小学校 5年)

令和4年度 中学生の「税についての書写」募集

山口県納税貯蓄組合総連合会 会長賞 藤本 ゆみ香 (和木中学校 1年)

令和4年度 第9回岩国・和木親守詩大会

岩国市長賞 村木 陽香 (和木小学校 2年)

「赤ちゃんのようふくぜんぶかわいいね あなたが着てたビンテージだもん」

和木町教育長賞 村木 陽人 (和木こども園 年長)

「おとうとがいつもおもちゃをとってくの ママはみてるよきみのゆずる手」

第39回 中国ユース音楽コンクール

管楽器部門 木管楽器の部 (サクソフォン)

優秀賞 大原 凜

(広島修道大学ひろしま協創高校 1年)

第29回 広島景観会議 景観づくり大賞

最優秀賞 峯田 祥平



「掛頭山より望む朝日」写真 峯田 翔平

(敬称略)

令和5年度 事業計画(案)

主催	事業名	開催日	会場
和木町文化協会	文化協会総会	4月28日(金)	●
和木町カラオケフェスタ	和木町カラオケフェスタ	5月14日(日)	●
手話サークル「虹」	岩国・和木手話サークル交流会	6月4日(日)	●
和木絵画クラブ	第23回 絵画作品展	6月9日(金)~12日(月)	●
ヒッポファミリークラブ和木	講演会「環境さえあれば自然に身につく」 親子で参加するワークショップ~7ヶ国語で話そう。~	6月17日(土) 10月22日(日) R6年2月25日(日)	●
和木カラオケ同好会	和木カラオケ同好会発表会(第36回)	6月18日(日)	●
AMM	AMM DANCE RECITAL 2023	7月16日(日)	●
和木町文化協会	キッズ芸能祭	7月22日(土)	●
ダンスサークルABEATクラブ	Candy発表会 2023	7月30日(日)	●
コミセンパソコン教室	夏季タイピング大会 地域交流会 ハロウィンパーティー 地域親睦会 クリスマスパーティー 冬季タイピング大会	8月上旬 10月28日(土) 12月16日(土) R6年2月下旬	●
はっち弦楽合奏団	第7回 定期演奏会	未定	●
和木中学校吹奏楽部OB会	第12回 ふれ愛コンサート	9月または10月	●
和木短歌会	公開短歌講座	秋	●
和木町文化協会	和木町文化祭 展示会	10月19日(木) ~11月5日(日)	●
和木町文化協会	和木町文化祭 芸能祭	11月3日(金・祝)	●
和木町・和木町文化協会共催	WAKI・コンサート'23 『和木町町制50周年記念事業“第九を歌おう”』	12月10日(日)	●
ロック部	Band Meeting	12月上旬	●
和木町文化協会	第11回 和木町絵画美術展覧会	R6年2月11日(日) ~25日(日)	●
四境太鼓	太鼓まつり'23 さくらまつり	R6年3月	●

開催日程は変更になる場合があります

※会場 ● 和木町文化会館 ● 和木町総合コミュニティセンター ● 和木美術館 ● 和木町体育センター ●

第10回キッズ芸能祭 参加者募集

日 時 7月22日(土)
場 所 和木町文化会館
応募資格 中学生以下
申込期限 5月25日(木)



音楽、ダンス、
古典芸能、演武、
大道芸、コント、
スピーチ、etc.

演奏時間:5分程度

※詳しくは募集チラシをご覧ください。

事務局紹介

このたび、総合コミュニティセンターに配属、文化協会事務局担当となりました田中と申します。



文化行政に携わることとなり、これまでの業務経験を活かし、文化・芸術面の発展に貢献できればと思います。

ご指導、ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

第10回

和木町絵画美術展覧会

主催 / 和木町文化協会 後援 / 和木町・和木町教育委員会



昨年の第9回 絵画美術展覧会は新型コロナ蔓延で開催できませんでしたが、今年度は、2月12日(日)から2月26日(日)までの15日間、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら和木町美術館(アート

ウィング)で「第10回 和木町絵画美術展覧会」を開催しました。

一般155点、高校生23点、合計178点の応募がありました。ジャンルも多岐にわたり充実した展覧会となりました。

出品規格サイズは10号以下で、画材、手法は問いません。

来年の「第11回 和木町絵画美術展覧会」へのご応募を楽しみにお待ちしております。



審査の様子



副賞のトロフィー

審査員講評



東亜大学芸術学部教授
国画会会員

川野 裕一郎

前回に引き続き審査に参加させていただきました。

期待していた通り、全体的に密度の濃い優秀な作品が多く見受けられました。というのも規定が最大10号までということで、そのぶん画面に注ぐ熱量も凝縮されているような気がしました。一般の部では多様化された表現が多い中で個性的な作品が上位を占めました。独自のリズムとドローイングの痕跡のような『群像』、変わった視点で描いた『街角』など作者の目線が反映されるものが目立ちました。また高校生の部では技法に凝った作品『COUSEI』、深海を思わせるような『海底からの手紙』など、これもまた視点がはっきりした魅力的な作品でした。メディア過多の時代に取えてものづくりで表現し、それぞれが自らの方向を見据えて個性・感性を作品に出し切っていることが頼もしく思えました。



比治山大学短期大学部美術科教授

木本 雅典

寒波到来で雪の降り積った広島北部の町から、今回の審査に立ち会わせて頂きました。会場に入ると力作揃いの作品が会場いっぱいに並んでおり、和木町の絵画への熱の入れ様に圧倒されました。どの作品にも作者の思いが入っており、優劣をつけるのは心苦しく思われましたが、立場上、仕方のない事です。

審査というのは、これまでの私自身の絵画経験と好みから、選んでしまうもので、選外だからといって、決して悪いという事ではありません。絵をかくことが好きだという事で充分ではないでしょうか。

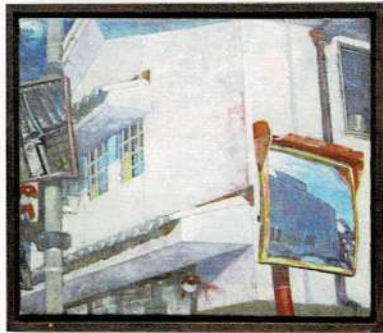
前回よりも出品数は増加したと聞きます。次回はもっと参加者が増えると良いなと強く思いました。

私の身のまわりでもそうですが、最近若い人の絵画離れが気になります。スマホ、ゲーム、イラスト、マンガ、と私が高校生だった頃より楽しい事、やりたい事が増えたのが原因でしょうか？今回は、高校生の参加が激減したそうです。一般の部に比べて少し寂しい気がします。若い力は、これから担っていく力だけに、もっと純粋に芸術にも興味を持ってほしいと願います。

第10回 和木町絵画美術展覧会 受賞作品

【大賞】 「群像」 茶谷 裕子 (岩国市) 表紙写真

【優秀賞】



「街角」
中谷 友子 (平生町)

【奨励賞】



「雲のまにまに天を指す」
市岡 明 (岩国市)

【奨励賞】



「フィナーレ」
三好 祐子 (岩国市)

秀作

「雪が舞う」	上村 康子 (岩国市)
「渋滞 (シンガポール)」	大島 英昭 (岩国市)
「昨日のこと」	神田 かずみ (岩国市)
「百花繚乱」	黒崎 頼英 (岩国市)
「函館夜景」	佐藤 澄夫 (岩国市)
「林」	島崎 みや子 (岩国市)
「寒椿」	寺井 壽一 (益田市)
「わたし」	西本 富雄 (柳井市)
「ヤモリの夢」	政岡 セツオ (大竹市)
「癒しの極み」	益原 礼子 (廿日市市)

佳作

「思ひ出づ」	岩田 キミ (周南市)
「気ままに」	浮島 礼子 (岩国市)
「戦禍の町」	倉谷 節子 (岩国市)
「時のながれ」	佐々木 和美 (北広島町)
「鉄の城」	田中 聖人 (大竹市)
「のぼら」	田辺 豊和 (周南市)
「常世長鳴鳥」	中原 品大 (広島市)
「あそんで〜」	原田 富士子 (周南市)
「ざくろ」	藤川 正三 (岩国市)
「林檎」	藤山 敬子 (岩国市)

高校生の部

【大賞】



「COSEI」
両國 菜々香
(光高校)

【優秀賞】



「海底からの手紙」
林 悠雅
(岩国工業高校)

【奨励賞】



「台の上」 田中 佑和
(岩国高校坂上分校)

【奨励賞】



「自販機」 藤原 咲姫
(岩国総合高校)

審査員特別賞

「オーロラ」	甲斐 大翔 (岩国工業高校)
「ミラクルペイント」	越 拓磨 (岩国工業高校)
「思い出」	濱田 凌佳 (岩国総合高校)
「フランスパン」	藤原 咲姫 (岩国総合高校)
「BOOK TOWER」	森田 陽向 (岩国商業高校)



和木町町制50周年記念企画

だ い く 第九を歌おう!

はじめてでも
だいじょうぶ!

ぼく、
ベートーヴェン

合唱団員募集

WAKI・コンサート'23

和木町は、2023年に町制施行50周年を迎えます。

同じく、WAKI・コンサートも25周年!

この大きな節目の年を記念し、みんなでベートーヴェンの

交響曲第9番「合唱付き」第4楽章「歓喜の歌」を歌いましょう!

| 日 時 | 2023年12月10日(日)
| 会 場 | 和木町文化会館
| 参加資格 | 小学3年以上
| ピ ア ノ | 山下 千佳・松村 和
| ソ リ ス ト | 小林 良子(ソプラノ)・藤井 美雪(アルト)
中東 駿(テノール)・折河 宏治(バリトン)
| 問合せ先 | 和木町文化協会 事務局 ☎0827-52-2191

指揮・合唱指導
村上 謙一郎

主催 / 和木町・和木町文化協会 後援 / 和木町教育委員会

和木町文化協会

検索



編集後記

令和4年度は、和木町文化協会創立30周年記念誌「和木町文化協会30年の歩み」の発行に続いて「和木ぶんか」第55号の製作と充実した1年となりました。無事に記念誌の発行ができましたのは文化協会会員の皆さまのご協力のおかげと感謝いたしております。

このところ、新型コロナの影響による行動制限は次第に緩和され、文化協会でも、これまで休止中だった「キッズ芸能祭」の開催を計画できるようになりました。会員の皆さまの活動も徐々に元に戻ることが期待できます。文化協会では、これらの活動を支援し、和木町の文化活動を益々活性化したいと思っています。心豊かで文化的な生活のため、共に文化協会で活動しましょう。